

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	政治学概論A (Survey of Political Science A)		
ナンバリングコード	E31502	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 教職科目 / 応用レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 前期
必修・選択区分	選択:教職 教職関係科目(必修):高等学校教諭一種免許状(公民) 教職関係科目(選択):中学校教諭一種免許状(社会) ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	EK00701	クラス名	-
担当教員名	斉藤 雄次		
履修上の注意、 履修条件	授業中の飲食や私語をはじめとする迷惑行為は慎むこと。これらは自分にとっての利益(自己利益)のみを追い求める行為であり、社会的にも望ましくないためである。 また、政治は日々刻々と変化する「なまもの」でもあり、それを知るのに新聞やニュースは役に立つ。これらにも目を通して時事的な話題に常に注目し、政治に対する理解を深めていただきたい。		
教科書	特になし。そのつど資料を配布する。		
参考文献及び指定図書	永井史男ほか『学問へのファーストステップ① 政治学入門』(ミネルヴァ書房、2019年) 福井英次郎編『基礎ゼミ 政治学』(世界思想社、2019年) など		
関連科目	なし		

○基本情報		
授業の目的	政治とは国家、政府や議会、行政といったものだけを指すのではなく、家族をはじめとする日常生活の中にも見られるものである。本授業では、こうした多様な政治の姿や考え方に迫る中で、政治、あるいは政治学をより身近なものとして感じてもらったり、政治に対する広い見方を獲得してもらう。 また、本科目は教職関係科目ということで、中学校社会科や高等学校公民科の教科指導を行うにあたって必要な知識や考え方の修得とも関わりがある。本授業の目的は、政治や政治学に関する教養を高めるだけでなく、社会科の教員、公民科の教員として求められる教科指導力の基礎を培うことにもある。	
授業の概要	国家、政府や議会、行政に代表される具体的な政治の仕組みを理解するとともに、政治学の議論においても取り上げられている民主主義やジェンダー、市民社会などの概念についても理解を深め、あるべき政治の姿、ひいてはあるべき社会の姿について考えてもらう。 また、そうした学修に役立つように、適宜、自分の関心のある「政治的」事象などについて掘り下げて調べてもらう活動や、グループワークも取り入れる。 さらに、中学校社会科や高等学校公民科の教科書等も用いながら、政治学の学問的議論と教科書記述とのつながりについても考えてもらう。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「グループワーク」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	政治や政治学の議論に関心を示し、社会科・公民科教員になることを含むこれからの自身の生活に、学修内容を活用していこうとする意欲や態度を有している。		15点	10点
【知識・理解】	政治の仕組みに関する理解や政治学の議論に関する知識の修得に努め、自分なりに政治やそれにまつわる争点を理解することができる。	20点	15点	
【技能・表現・コミュニケーション】	ワークシートへの記入やグループワークなどを通じて、自らの意見を表現したり、他者から様々な意見を引き出したりすることができる。		15点	10点
【思考・判断・創造】	あるべき政治の姿を考えることを通じて、あるべき社会の姿についても考え、自らの立場に基づいた見解を述べるができる。		15点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
事前課題や事後課題、グループワーク時の取り組み状況なども、平常点として評価の対象に加える。 この平常点の成績評価に占める割合は高いため、提出率が低い場合や不備が多い場合、評価は大きく下がることになる。 また、学期末には期末レポートを課すが、それに対しては必要に応じてコメントを加えるなどのフィードバックを行う。 なお、期末レポートの作成にあたっては『知へのステップ』を参照するなどして、学術的作法を守ることが強く求める。				
○その他				
本講義の成績評価と、それに対応する資質・能力との対応は以下の通りである。 Sレベル:授業で扱う政治学の知識を十分に理解し、政治のあり方について多角的・論理的に説明することができる。 Aレベル:授業で扱う政治学の知識を概ね理解し、政治のあり方について多角的に説明することができる。 Bレベル:授業で扱う政治学の知識をある程度理解し、政治のあり方について自分の言葉で説明することができる。 Cレベル:授業で扱う政治学の知識を最低限理解し、政治のあり方について自分の言葉で最低限説明することができる。 グループワークや自ら調べまとめ、それを共有する活動を通じて、自分の考えを他者に伝えるように話す力、他者の意見を聞いて自らの考えを省みることのできる力、必要な情報を取捨選択する力などを高めていただきたい。それらの能力は、中学校社会科や高等学校公民科の教員になるにあたって、あるいは他の職に就き、社会のなかで生活していく上でも役立つはずである。 また一般教養としての政治に関する知識や考え方を提供するだけでなく、教職に就く上でも必要となる政治に対する知識や考え方を提供し、多面的・多角的な政治に対するイメージを構築することも、本授業は目指している。 そのため、講義を欠席することは、社会で生きていくための最低限の教養や、政治分野を生徒に教えるための最低限の知識を得る機会を失うことを意味する。自分が将来社会に出て損をしたり、教育実習等の場で生徒に誤った知識を教えないためにも、全ての回出席することを、当たり前にしていただきたい。				

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科目名 担当教員	政治学概論A (Survey of Political Science A) 斉藤 雄次	授業コード	EK00701
学修内容					
1. 政治(学)を学ぶとは					
受講生のイメージする政治と、学問的議論における政治の共通点と相違点について確認するとともに、政治学の重要なキーワードである「権力」や、そもそも政治とは何を指すのか、といった基本的事項について理解を深める。					
予習	政治学に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間
2. 日常生活と政治					
人々の日常生活のあり方に影響を与える政治的アクターとしての、政府や利益団体などの働きについて理解するとともに、そのあり方について考察する。					
予習	政治学に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間
3. メディアと政治					
政治に関する情報を目にする手段、政治に対して影響を与える手段となっているテレビや新聞などのマスメディア、SNSなどのソーシャルメディアを切り口として、政治のあり方について考察する。					
予習	政治学に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間
4. 選挙と政治					
政府や国会で政治的意思決定に関わる人を自分たちの代表者として選ぶという意味で、政治に対して大きな影響を与える選挙、投票を切り口として、政治のあり方について考察する。					
予習	政治学に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間
5. 政治家と有権者、政党					
選挙で選ばれた政治家は、有権者の声に応えるための活動だけでなく、政党の一員としての活動も行っている。そのため、政治家と有権者、政治家と政党の関係を切り口として、政治に対する理解を深める。					
予習	政治学に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間
6. 議会					
選挙で選ばれた政治家は、政治を行う前提としてのルールづくりを議会において行っている。政治に関わるアクターの一つである議会、日本においては国会(衆議院、参議院)の機能を切り口として、政治に対する理解を深める。					
予習	政治学に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間
7. 政策					
選挙で選ばれた政治家は、自身が中心となり政策を実行するが、その過程では官僚も関わっている。そこで、政治に関わるアクターの一つである官僚と、政治家との関係に焦点を当て、政策を切り口として、政治に対する理解を深める。					
予習	政治学に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間
8. 中間まとめ					
これまでの学修を振り返り、人々が政治に関わる手段、および人々が選択した代表者によって行われている政治について、自らが追究したいテーマを設定し、意見をミニレポートとしてまとめる。					
予習	既習事項を振り返り、自身が抱く政治に対する関心や問題の所在について確認する。				約2時間
復習	学修内容を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。				約2時間

○授業計画	科 目 名 担当教員	政治学概論A（Survey of Political Science A） 斉藤 雄次	授業コード	EK00701
学修内容				
9. デモクラシー				
「政治に関わるべきは政治家だけなのか」という問いに対する様々な答えを提供する、民主主義をめぐる議論（エリート民主主義論、多元的民主主義論、熟議民主主義論など）を切り口として、政治のあり方について考察する。				
予習	政治学に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
10. 市民社会				
国家、政府や議会、行政への積極的関与という点で、政治に関わるものであるとみなすことができる「市民社会」を切り口として、政治のあり方について考察する。				
予習	政治学に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
11. 地方自治				
身近な政治や民主主義の場である地方自治に焦点を当て、近年日本などで見られる様々な市民参加の実践にも目を向けながら、政治のあり方について考察する。				
予習	政治学に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
12. 福祉国家				
労働者の参政権に続いて社会権が整備され、国家が手厚い保障を行う福祉国家が成立した。この福祉国家を切り口として、政治や社会のあり方について考察する。				
予習	政治学に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
13. ジェンダー				
「政治の場から、女性は排除されてきたのだろうか」という問いに対する一つの答えを提供するフェミニズムの議論に焦点を当て、ジェンダーと政治の関係について理解を深めるとともに、政治や社会のあり方について考察する。				
予習	政治学に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
14. 多様性				
対立する利害を調整するという意味での「政治」に注目し、対立のもととなる価値観の違いにどう対応するか、リベラリズム、保守主義などの政治思想を切り口として、政治や社会のあり方について考察する。				
予習	政治学に関する文献に目を通し、講義前に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
15. 総括				
これまでの学修内容を踏まえて、あらためて政治に対する自己の認識を振り返る。そして、政治はどうあるべきかについて、国家レベル・地方レベル・日常生活レベルなど様々な視点から考察する。				
予習	配布資料をもとに、これまで学んできた政治学の知識や考え方などを整理する。			約2時間
復習	配布資料を振り返るとともに、講義後に提示された問いに対する回答をまとめる。			約2時間
16. 期末試験				
予習				
復習				